

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>開会に先立ちまして、前回7月の運営協議会におきまして、皆さまに委嘱をさせていただいたところですが、前回、欠席されました鈴木委員と春名委員には委嘱状の交付が行われておりませんので、本日、委嘱状の交付をさせていただきたいと思っております。</p> <p>本来であれば田中市長から直接委嘱状交付をすべきところではありますが、別の公務が入っておりますので、代理で加藤福祉部長より委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>～鈴木委員へ委嘱状交付～</p> <p>～春名委員へ委嘱状交付～</p>
田代参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、鈴木委員、春名委員、自己紹介をお願いします。</p>
鈴木委員	(自己紹介)
春名委員	(自己紹介)
田代参事	<p>鈴木委員、春名委員ありがとうございました。</p> <p>ただいまから、平成27年度第2回入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を開会いたします。</p> <p>それでは、大杉会長よりごあいさつをいただきたいと思います。</p> <p>大杉会長お願いいたします。</p>
大杉会長	(挨拶)

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>議長につきましては、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第1項の規定で、会長が会議の議長となる旨が定められておりますので、大杉会長に議長として以後の進行をお願いいたします。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は、9名です。よって、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第2項の規定により、会議は成立しております。なお、滝澤委員、大垣委員の2名から欠席の届出をいただいております。</p> <p>それでは早速、議題に入らせていただきます。</p> <p>本日の議題は、3点ございます。1点目は「平成28年度地域包括支援センター運営方針(案)について」、2点目が「地域密着型サービス事業者選定について」、3点目が「その他」となります。</p> <p>はじめに、「平成28年度地域包括支援センター運営方針(案)について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
下村主幹	<p>(資料 No. 1 平成28年度入間市地域包括支援センター運営方針(案)について 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明をお聞きした上でご質問等ありますでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>7「生活支援体制整備業務」の項目に、連携・協働による資源開発等とありますが、資源開発とは何を意味しているのか説明をお願いします。</p>
田代参事	<p>資源という言葉は社会資源と捉えてください。地域包括支援センター（以下「包括」という。）の前進である在宅介護支援センターの時代から、社会資源を探し、無ければ作り出していくという意味を込めて資源開発という言葉を使用しています。</p>
議長(大杉会長)	<p>他に御座いませんか。</p>
鈴木委員	<p>内容については問題無いと思います。</p> <p>行政として入間市全体にこういった形で進むので協力してほしいと伝えるような環境整備はされているのでしょうか。</p>
田代参事	<p>平成18年に改正された介護保険法では、包括は基本的には市町村が行うが、直営だけでは難しい為、その業務は委託してもよいことになっています。そのため、運営方針は市の方針であり、包括に取り組んでいただく内容となっています。市としても同じ立場・視点で取り組んでいきますといった意味合いとなっています。</p>
鈴木委員	<p>包括は市からの委託で運営されているので、市と同じ立場・視点であるということはわかります。しかし、実際の業務の中で包括に協力するのは一般市民であったり、地域であったり、施設、病院であったりします。包括は活動するなかでそういった方々や団体に声をかけ、協力してもらっています。市がそういった関係団体・協力団体に対して、予め声を掛ける等を行うことで包括も活動がしやすいのではないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>ありがとうございます。包括立ち上げ時から包括職員からもそういった声がありました。しかしながら、職員の中にはそれをあてにし、依存してしまう職員もいました。自分たちで地域マップをつくり、それをもとに関係者・団体と繋がっていくことで、連携や協働がはじまるという想いから、社会福祉の専門職である包括の職員には、これまでお願いしてまいりました。現在、地域包括支援センター連絡会の中で、市と包括の職員がそれぞれの地域の課題を抽出し、整理し、対処しております。今後もお互いに意見を交換しながら、協力していきたいと考えています。</p>
水上委員	<p>地域資源、地域開発は地域独特のものを生かしていくと思いますが、地域資源開発において現在予定しているものは具体的にありますか。</p>
田代参事	<p>これまでの取組みの中で包括がどの程度関わったのかは、難しいところではありますが、結果として市内に住民主体による相互支え合いのシステムとして、東藤沢の地域支え合い組織と東町公民館を中心とした豊岡第二地区の支え合い組織ができています。また、今現在も入間台や藤沢等で、住民主体の支え合い組織の立ち上げが進行しています。そういった住民主体の支え合い組織の立ち上げには包括が深く関わっています。地域によって様々な特徴があり、ニーズも違います。それらを発掘し、解決していくために、市や包括や民生委員児童委員、自治体等あらゆる組織が同じ方向に向かうことで、住民主体の組織が活発になっていければと思っております。また、そういった共通認識を持ち続けられれば良いと思っております。</p>
川名委員	<p>資源開発といっても、それを行うにあたり様々な活動があり、実際に行うとなると包括の職員は半年以上もの地道な活動を行っています。そ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>ういった現状で、本来ならば市が直営すべきものを委託しているのであれば、市がもっと包括へのサポートを全面に出しても良いのではないのでしょうか。現状、市のサポートを直接感じる事があまりありません。細かな仕事でも案外時間が掛かっています。包括を支える為にも、もう少し何か手を差し伸べてはいかがでしょうか。</p> <p>運営方針は、各包括へのお願いだと思いますが、それとは別に包括同士の会議等も行われていると思います。そういった会議に関しては、市は関与しているのでしょうか。運営方針には書かれていない部分として、市がどの程度関わっているのかを教えてくださいたいと思います。</p>
下村主幹	<p>包括との連絡会につきましては、月1回実施しており、司会に関しては包括の当番制をとっていますが、会場設定等は市が行っています。また、9月の1ヵ月間をかけて、各包括をまわり、各包括と委託法人と市とで打ち合わせを行いました。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございます。これまで、市の活動についての記載が薄いのではないかと等々の意見がございました。基本的には市が委託を行っており、市は責任を負っていると思いますが、他にこの文章では内容が弱い、踏み込むべき等の意見はありますでしょうか。</p>
松本委員	<p>第2層の協議体を設置・開催するとありますが、圏域毎の地域ケア会議で解決できない内容を解決するために行うのでしょうか。それとも、定期的に行うものなのでしょうか。</p>
下村主幹	<p>地域ケア会議とは別に会議を行います。メンバーに関しては同じメンバーもしくは、多少の入れ替えになります。開催に関しては地域ケア会</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>議の後にメンバーを多少入れ替えて定期的を開催していく予定です。</p> <p>5「認知症高齢者及び家族への支援業務」の項目については、前回の協議会でもありましたが、今後大切になってくると思います。地域の体制づくりに関しては、難しいところであり、はっきりしない部分だと思えますが、テレビでも認知症についての特集もよく見るようになりましたし、世の中の的にも大きな要因です。そういった中で包括の運営方針について、これで良いのか等あればおっしゃってください。</p>
川名委員	<p>内容のことではありませんが、5「認知症高齢者及び家族への支援業務」の項目と7「生活支援体制整備業務」の項目は続けて書いた方が良いのではないのでしょうか。</p>
下村主幹	<p>検討させていただきます。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、事務局で検討をおねがいします。また、市の関わりについても検討をお願いします。他に何かありますか。</p>
鈴木委員	<p>運営方針についてはこのままでいいと思います。しかし、内容とは別に、運営方針に書いてあることを実際に包括が動くにあたって、なにか市のバックアップがあれば良いのではないかと思います。</p>
田代参事	<p>関係者の方々からみて、まだまだ不十分と思われるかもしれませんが、市としてはあらゆる手立てをとり、あらゆる機会を通じて包括が地域で活動しやすいように当初から様々な場面で関わってきました。今後はそういった意識を再認識して取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>補足ではありますが、運営方針というのは、市が包括を運営するにあ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>たつての基本方針です。この運営方針をうけて、法人、包括は年度が始まる前に、どういった運営を行っていくかという事業計画書を提出します。それを市がヒアリングをして、28年度の業務の委託という流れになります。そのため、運営方針は委託のための仕様書の側面もございます。</p>
春名委員	<p>年度の始まりに事業計画書を提出するとのことですが、年度終わりの検証はあるのでしょうか。</p>
田代参事	<p>当初からそのことは意識しており、事業計画書を出す際に1年間の振り返りを行ってもらい事業総括を提出してもらっています。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、「平成28年度地域包括支援センター運営方針(案)」につきまして、他に意見がなければ、まとめたいとおもいます。</p> <p>ありがとうございました。とりまとめを終えました。</p> <p>つぎに、「地域密着型サービス事業者選定について」を議題といたします。小林委員につきましては、この議題の当事者になりますので中座をお願いいたします。</p> <p>(小林委員退席)</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
岩田主幹	<p>(資料 No. 2 入間市地域密着型サービス開設計画書の提出について説明)</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から「地域密着型サービス事業者選定について」の説明をいただきました。</p> <p>今の説明について、ご質疑、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
春名委員	<p>住民説明会はいつされているのでしょうか</p>
岩田主幹	<p>住民説明に関しては、住宅密集地ではないため、個別訪問にて近隣への説明をしていただいております。</p>
春名委員	<p>すでに行っているのですか。</p>
岩田主幹	<p>すでに行っておりますが、会えない方については、今後行うとのことです。</p>
近藤副参事	<p>10「事業の適性に応じた運営」の項目の（４）にも記載があります。</p>
鈴木委員	<p>職員はどの程度を予定されているのでしょうか。</p>
岩田主幹	<p>職員は 14名となっております。生活相談員 1名、看護職員 3名、介護職員 10名となっております。</p>
鈴木委員	<p>職員の確保は大丈夫なのでしょうか。</p>
岩田主幹	<p>人員の配置は医療法人一晃会と訪問看護ステーション青い鳥の人員をあわせて確保すると聞いております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	通いの方達はどうかされるのでしょうか。
岩田主幹	送迎という形になろうかと思います。
松本委員	泊りの部屋は何室あるのでしょうか。
岩田主幹	泊りの部屋は6部屋ございます。2部屋増設できるようになっております。
議長(大杉会長)	建物の構図はありますか。
岩田主幹	後ほど配布させていただきます。
川名委員	送迎があるとのことですが、職員の方の駐車場スペースはありますか。
岩田主幹	職員用の駐車場スペースはありません。隣接に旧交番があり、そちらの土地を確保できれば、若干駐車場ができます。また、北側は市街化区域のため、場合によっては駐車場の確保もできるものと思います。
田代参事	<p>地図にて申請地の右側（東）にある建物が移転してしまった空き家の交番になります。</p> <p>すでに小規模多機能型居宅介護を事業化されている高野委員にご意見いただいてもよろしいでしょうか。複合型サービスとして看護があることの、良い面、悪い面があればお聞きしたいです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高野委員	<p>医療面が強いのかなと思います。長年やっていると利用者の重度化が起こります。グループホームでは訪問看護や往診で対応しますが、小規模多機能型居宅介護では次のステップを考えることになります。しかし、看護付きということで、在宅での看取りも可能になりますので、利用者が重度化した際、看護面に強い小規模多機能型居宅介護は良いと思います。しかし、最初から重度の利用者が集中する可能性もありますね。</p> <p>軽い方がどんどん重度化することで、最終的には施設入所に動くことになります。重度化ではなくても、認知症のために実質入所状態の方が増えてきますので、先々同じ悩みが出てくるのではないのでしょうか。</p>
高野委員	<p>人員配置についてですが、生活相談員というのはケアマネジャーのことですか。</p>
田代参事	<p>介護支援専門員が生活相談員を受け持っています。</p>
臼井副会長	<p>夜間含めた24時間体制の訪問看護について、これから大変になってくるのではないですか。</p>
近藤副参事	<p>今回募集をしたのは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護と看護小規模多機能型居宅介護ですが、看護小規模多機能型居宅介護のみ応募をいただきました。一般的には24時間対応の訪問看護については定期巡回・随時対応型訪問介護看護にあたります。</p>
高野委員	<p>一般的には日中になりますが、何かあれば事前に泊ってもらう等の予防策を講じています。台風が強いとき等も泊ってもらうことがあります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
近藤副参事	<p>ありがとうございます。先ほどの地域包括支援センター運営方針もそうですが、地域包括ケアシステム、住み慣れた地域で人生の最期まで過ごしていただくということを進めていく上で大事な転換期となっています。国においても、地域包括ケアシステムの構築を前面に押し出して推進しています。地域包括支援センター運営方針においても、地域包括ケアシステムをしっかりと構築するために包括でも取り組んでもらうといった内容がもりこまれており、今回の改正の主旨になります。今回、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の応募はありませんでしたが、来年度グループホームの募集にあわせて、もう一度募集していきたいとおもいます。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は地域包括ケアシステムの核の一つになると思いますので、24時間対応の施設サービス設置を進めて行きたいと思います。24時間対応の介護看護となると人員配置も難しいですし、医師会等とも相談しつつ進めてまいりたいと思います。今回の看護小規模多機能型居宅介護も、人生の最期まで住み慣れた地域で過ごす上で重要になりますので、市としても設置を進めていきたいと思っています。</p>
議長(大杉会長)	<p>こういった施設が多くできることは素晴らしいことですし、地域の課題を解決することにも繋がると思います。</p>
岩田主幹	<p>(図面の配布、説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に意見がなければ、「地域密着型サービス事業者選定について」をまとめさせていただきます。</p> <p>それでは、小林委員に席に戻っていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>次に、「その他」について、何かありますか。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>(前会の補足説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>他には何かございますか。</p> <p>特にないようでしたら、事務局から連絡事項等がありましたらお願いいたします。</p>
下村主幹	<p>次回は3月を予定しております。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、本日の全ての議題を終わりましたので、議長の座をおりさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
田代参事	<p>大杉会長、ありがとうございました。</p> <p>最後に閉会のご挨拶を臼井副会長、お願いいたします。</p>
臼井副会長	<p>ただいまをもちまして、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を閉会とさせていただきます。どうもご苦労さまでした。</p>

